

新興国からの資金流出懸念などでブラジル・レアルは下落

2018年5月25日

お伝えしたいポイント

- ・ 米国金利上昇による資金流出懸念で新興国通貨は軟調な推移
- ・ 大統領選挙をめぐる不透明感や足元の経済指標の予想下振れも逆風
- ・ ブラジル中央銀行の通貨防衛姿勢がブラジル・レアルを下支え

<米国金利上昇による資金流出懸念で新興国通貨は軟調な推移>

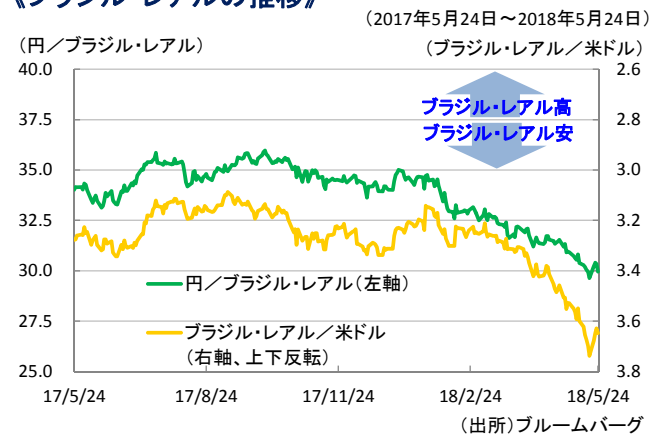
ブラジル・レアルを含む新興国通貨は足元で軟調に推移しています。その主な要因は、米国金利の上昇により新興国の対米金利差が縮小したことで、新興国からの資金流出懸念が高まったことであるとみています。

すでにトルコやインドネシアなど、いくつかの新興国で通貨防衛のための利上げが行われている中で、ブラジル中央銀行は5月16日(現地、以下同様)に、市場が利下げを予想する中、政策金利の据え置きを決定しました。今回の政策金利の据え置きは、急速な通貨安によって将来的なインフレ率の上昇リスクが高まった点が政策判断において重視されたものとみられます。

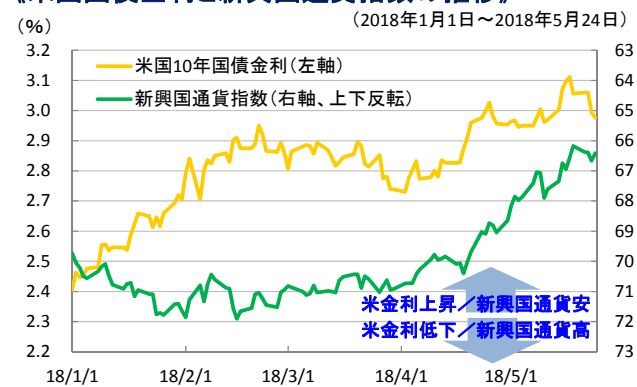
今後、米国の経済指標の予想比上振れなどから、米国の利上げペースの加速が一段と市場で意識され、さらなる米国の金利上昇と新興国通貨安につながるリスクには注意が必要です。

ただし当社では、新興国の経済・財政面での健全性は増しており、また政策発動余地も残されていることから、過去と比べて外的ショックに対する耐性は強まっていると考えています。グローバル金融市場が落ち着きを取り戻すにつれて、新興国の高い金利を安定して享受できる環境に戻り、新興国への資金流入が再び活発化すると予想しています。

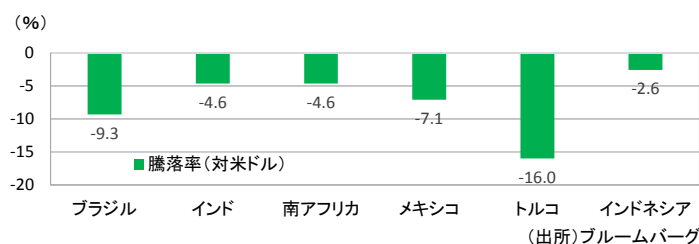
《ブラジル・レアルの推移》



《米国国債金利と新興国通貨指数の推移》

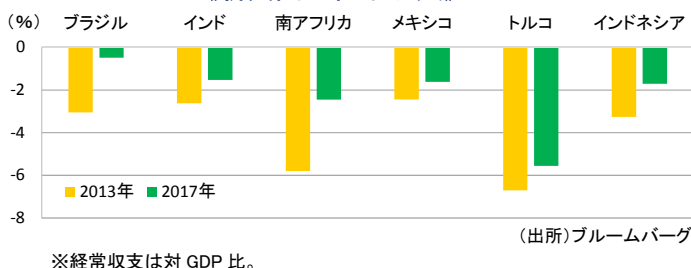


《新興国通貨の騰落率(2018年3月末～5月24日)》

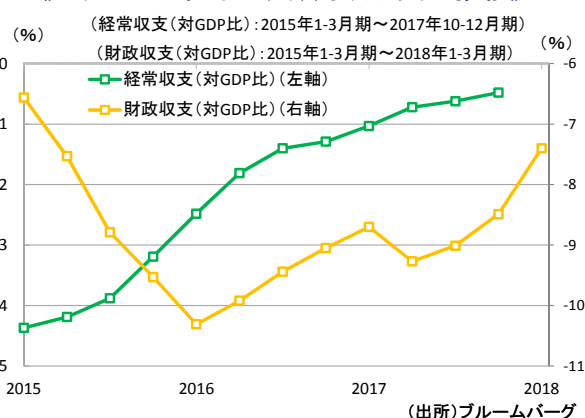


※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

《新興国の経常収支》



《ブラジルの経常収支、財政収支の推移》



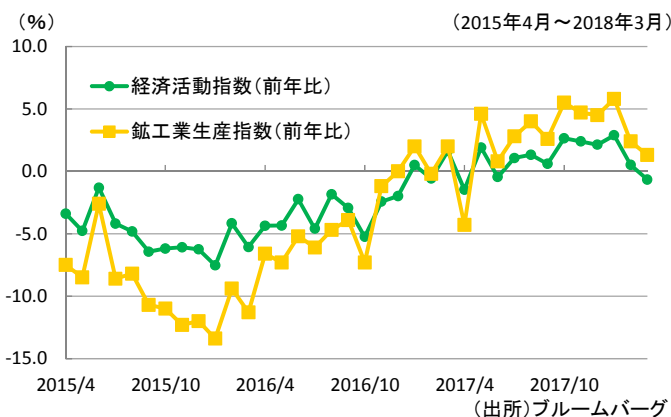
＜大統領選挙をめぐる不透明感や足元の経済指標の予想下振れも逆風＞

ブラジル・レアルの下落については、新興国からの資金流出懸念に加えて、10月に控える大統領選挙をめぐる不透明感や、足元の経済指標が予想よりも弱い結果となったこともその要因となっているとみています。

大統領選挙については、最新の世論調査で、収監されたルラ元大統領の支持率がトップとなっています。その他の候補者の中では、極右のボウソナロ氏の支持率が高い一方で、最も金融市場寄りの候補者として投資家から評価されているアルクミン氏の支持率が低迷していることが明らかになっています。大統領選挙については今後も流動的な状況が続くことが予想され、投資家の手控えムードを強めているとみられます。

また、ブラジルでは景気回復が続いているものの、最近発表された失業率や鉱工業生産指数、経済活動指数といった経済指標が市場予想よりも弱い結果となっており、景気回復ペースの鈍化懸念が高まっています。ブラジル中央銀行は3月に発表したインフレ報告書で2018年のGDP(国内総生産)成長率を2.6%と予想していますが、今後景気見通しの下方修正が行われる公算は高いと考えられます。景気回復ペースの鈍化懸念も、ブラジル・レアルにとってマイナスに働いているとみられます。

《経済活動指数、鉱工業生産指数の推移》



＜ブラジル中央銀行の通貨防衛姿勢がブラジル・レアルを下支え＞

ブラジル・レアルの下落が続く中で、ブラジル中央銀行は5月21日から、米ドル売りブラジル・レアル買いの通貨スワップによる為替介入額を増額しました。これを受けてブラジル・レアルは反発しました。中央銀行はブラジル・レアルの下落がインフレ率の上昇に波及することを懸念していると考えられ、中央銀行が通貨防衛姿勢を示したことは、ブラジル・レアルを下支えすると考えられます。

今後のブラジルの金融市場はグローバル金融市場や大統領選挙の動向に左右される展開が見込まれます。グローバル金融市場が落ち着きを取り戻すことに加え、大統領選挙で構造改革の継続に前向きな候補の当選が有力になり不透明感が払拭されていけば、ブラジル・レアルにとって好材料になるとみています。

以上

※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

<ご参考> 当社の関連リサーチ

◇マーケットレター

- ・ブラジル金融政策(2018年5月)～市場予想に反して政策金利を据え置き～(2018/5/17)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180517_1.html
- ・ブラジル金融政策(2018年3月)～0.25%ポイントの利下げを行い、追加緩和を示唆～(2018/3/22)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180322_2.html
- ・ブラジル金融政策(2018年2月)～0.25%ポイントの利下げを行い、金融緩和サイクルの終了を示唆～(2018/2/8)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180208_1.html
- ・ルラ元ブラジル大統領への有罪判決で年金改革への期待感が継続(2018/1/25)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180125_2.html
- ・ブラジルの格下げについて(2018年1月)(2018/1/12)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180112_1.html
- ・ブラジル出張報告②(経済・社会の「今」)～経済、金融市場の安定を保つ上でも構造改革の進展は重要～(2018/1/5)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180105_1.html
- ・ブラジル出張報告①(政治の「今」)～年金改革および大統領選挙の行方～(2017/12/26)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171226_1.html
- ・ブラジル金融政策(2017年12月)
～利下げ幅を縮小しながら金融緩和を継続。堅調な国内景気がレアルの下支え要因に～(2017/12/7)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171207_3.html
- ・ブラジル金融政策(2017年10月)～利下げを継続もペースは減速。緩和サイクルは終盤へ～(2017/10/26)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171026_1.html
- ・ブラジルのテメル大統領、検察から2度目の起訴～今後の注目点は財政・予算、大統領選挙へ～(2017/9/29)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170929_1.html
- ・ブラジル金融政策(2017年9月)～利下げ継続も今後はペースを鈍化。喫緊の課題への政府の取り組みに期待。～(2017/9/7)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170907_1.html

◇動画

- ・2018年ブラジル経済見通し～底堅い経済成長を期待～(2018/2/1)
<http://www.daiwa-am.co.jp/guide/movie/popup/mov96.html>

◇Weekly Report

- ・ブラジルの金融市場動向(毎週更新)
<http://www.daiwa-am.co.jp/market/weeklyreport.php?type=6>

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.24200%（但し、最低 2,700 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては約定代金に対して最大 0.97200%の国内取次手数料（税込）に加え、現地情勢等に応じて決定される現地手数料および税金等が必要となります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動（裏付け資産の価格や収益力の変動を含みます）による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失が生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会